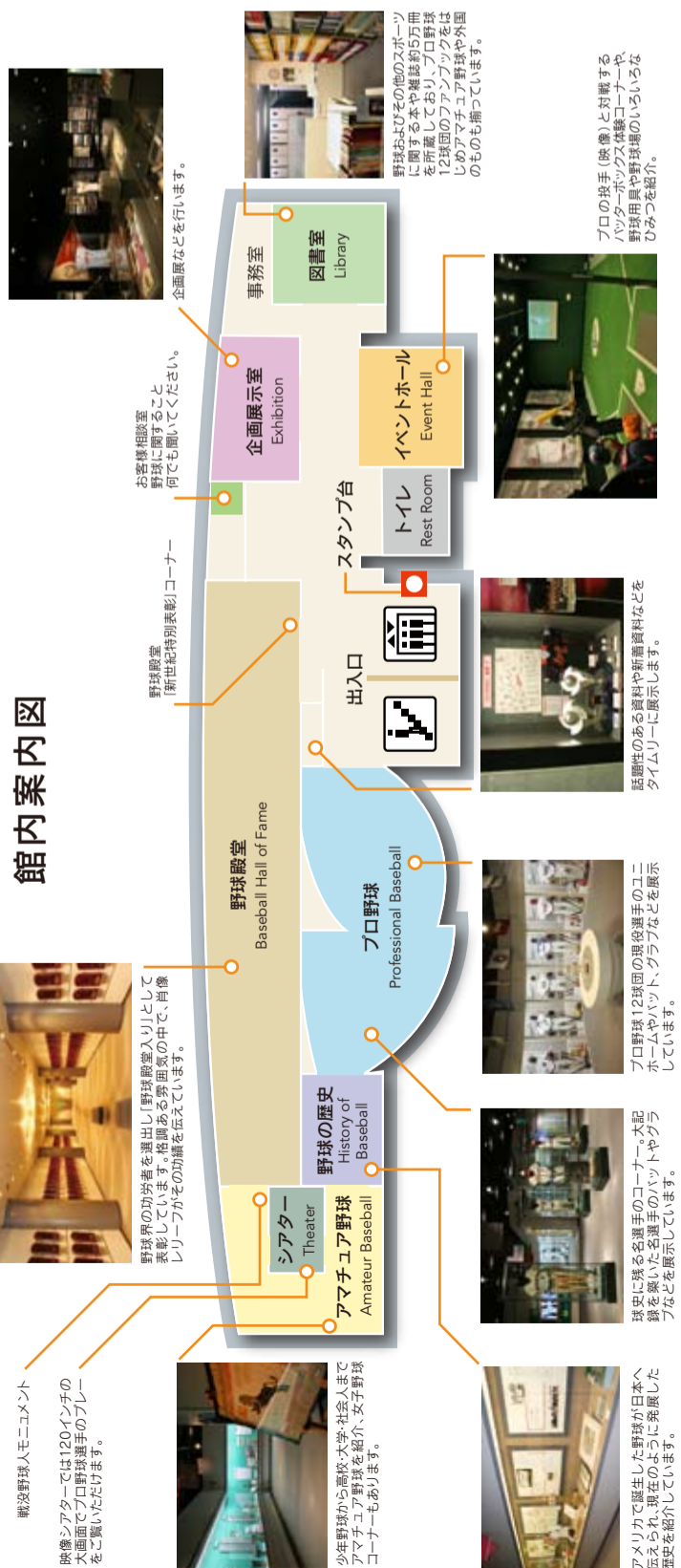


館内案内図



戦後の復興、2リーグ制が始まる

- 1945(昭和20) 11月18日に神宮で全日本対全戦大を挙行。プロ野球も11月23日に東西対決を行う。
- 1946(昭和21) 学生野球 社会人野球、プロ野球が復活。
- 1947(昭和22) シカゴ・ホワイトソックス初の黒人大リーグ選手となる。
- 1948(昭和23) 横浜シーメンス球場(横浜スタジアム)でプロ野球の初試合が行われる。
- 1949(昭和24) サツマシニョウ(3A)が戦後初のアメリカプロ野球チームとして来日。
- 1950(昭和25) センパイ・バレーボールの2リーグ制が始まる。
- 1951(昭和26) プロ野球にコミッションナ制度が入れられる。
- 1952(昭和27) 全日本大学野球選手権大会が始まる。
- 1953(昭和28) フシビの野球実況放送が始まる。
- 1959(昭和34) 野球体育博物館(現・野球殿堂博物館)開館。
- 1962(昭和37) 作新学院が、春夏甲子園に初の連続優勝。
- 1965(昭和40) ヒーストンに初の覆帳付球場(フリースタッド)建設される。
- 1969(昭和44) プロ野球新人選択会議(ドラフト)が始まる。
- 1970年10日、金田正一は通算400勝を達成。
- 1973(昭和48) バリウツグが2リーグ制を採用。(1982年まで)
- 1975(昭和50) バリウツグが指名打者(DH)制を採用。
- 1977(昭和52) バリウツグが指名打者(DH)制を採用。
- 1977(昭和52) 9月3日、真治はバークス・パールの記録を破る通算756本塁打達成。
- 1983(昭和58) 6月3日、横本 豊はバークスの記録を破る通算39盗塁達成。
- 1984(昭和59) ロサンゼルスオリエンツの公開戦で全日本チームは金メダル獲得。
- 1987(昭和62) 6月13日、衣笠雄也はバークスの記録を破る2131試合連続出場達成。
- 1988(昭和63) 日本初の覆帳付球場東京ドームが完成し、野球体育博物館はドーム内に移転。

野球の国際化

- 1992(平成4) 4月、Vリーグの12球団が正式種目となり、銀メダル獲得。
- 1993(平成5) 5月、Vリーグも14チームとなる。
- 1994(平成6) 6月、アジア大会でも、中国、西の地区別となる。
- 1995(平成7) 7月、アジア大会での西の地区別となる。
- 1996(平成8) 8月、アジア大会での西の地区別となる。
- 1997(平成9) 9月、アジア大会での西の地区別となる。
- 1998(平成10) 10月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2000(平成12) 12月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2001(平成13) 1月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2004(平成16) 4月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2005(平成17) 5月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2006(平成18) 6月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2007(平成19) 7月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2008(平成20) 8月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2009(平成21) 9月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2010(平成22) 10月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2011(平成23) 11月、アジア大会での西の地区別となる。
- 2012(平成24) 12月、アジア大会での西の地区別となる。

野球の国際化

- 90年代にはオーストラリアで野球が正式種目となり、野茂英雄選手をはじめ日本人選手が大リーグで活躍するなど、国際化が進んだ。
- 2006年にはWBCがスタート。
- 1927年、第1回都市対抗野球大会開催。
- 1927年(大正16) 7月、第1回都市対抗野球大会開催。
- 1927年(大正16) 7月、第1回都市対抗野球大会開催。
- 1927年(大正16) 7月、第1回都市対抗野球大会開催。
- 1927年(大正16) 7月、第1回都市対抗野球大会開催。

2013(平成25)年 野球界のおもなスケジュール

- 3月 第3回WBC(2日～)
- 6月 第62回全日本大学野球選手権大会(11日～)
- 7月 第84回都市対抗野球大会(12日～)
- 8月 第95回全国高校野球選手権大会(8日～)
- 9月 第68回全日本軟式野球大会(13日～)
- 10月 10月、アジア大会での西の地区別となる。

プロ野球の隆盛

1917年(大正6) ロングのメジャーリーグで活躍し、"世界のホームラン王"と呼ばれた。

プロ野球 オールスターゲーム

第84回都市対抗野球大会(12日～)

第62回全日本大学野球選手権大会(11日～)

第85回選抜高校野球大会(22日～)

プロ野球 オールスターゲーム

第84回都市対抗野球大会(12日～)

第62回全日本大学野球選手権大会(11日～)

第85回選抜高校野球大会(22日～)

プロ野球 オールスターゲーム

第84回都市対抗野球大会(12日～)

第62回全日本大学野球選手権大会(11日～)

第85回選抜高校野球大会(22日～)

プロ野球 オールスターゲーム

第84回都市対抗野球大会(12日～)

第62回全日本大学野球選手権大会(11日～)

第85回選抜高校野球大会(22日～)

日本にペースボールが伝来

- 1872年に第一学区第一番中学のアメリカ教師ホリス・ライムンが生徒にペースボールを伝えた。翌年、開成学校と校名が変わり新校舎として立派な運動場が整備され、試合ができるようになった。
- 1849(嘉永 2) ニッカーボクサーと呼ばれるコンホムを用いる。
- 1857(安政 4) アマチュア野球選手会を作ると話し合いを行い、「新編アサヒ」が倶楽部を結成。
- 1876(明治 9) 現在のチャイナ・リトルリーグが結成される。
- 1878(明治 11) アメリカ留学から帰国した平岡 藩が、わが国初の野球チームを創設。
- 1884(明治 27) 中馬 康がペースボールを「野球」と呼ぶ。
- 1896(明治 29) 第一高等学校が横浜外国人チームに勝利し、野球人気が高まる。
- 1901(明治 34) 現在のアメリカン・リーグが結成される。
- 1903(明治 36) ナショナル・リーグの間に協定が成立し、ダブルリーグが始まる。
- 1905(明治 38) 早稲田が初の米園遠征を行い、最新の野球技術を学んで帰国。
- 1906(明治 39) 栗原が初めて外国チーム(ハリソン・セントルイス)を招待し、初の有料試合を行う。

- 1914(大正 4) 全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園大会)が始まる。
- 1918(大正 7) 錦旗 栄が少年野球用に軟式ボールを発明。
- 1919(大正 8) オールスターゲームの選手が買収される。
- 1920(大正 9) 最初のプロ野球日本運動協会(芝浦協会)が発足。
- 1921(大正 10) フットボールが初代コミッションナーに就任し、フットボール大会を開催。
- 1924(大正 13) 全国選抜中等学校野球大会(現在の春の甲子園大会)が始まる。
- 1925(大正 14) 秋季、早稲田が復活、東大の加盟により東京六大学リーグ制が始まる。
- 1926(大正 15) 明治神宮球場完成。
- 1927(昭和 2) 夏の甲子園大会が初めてラジオで実況放送される。
- 1929(昭和 4) 六リーグで番号を採用する球団があらわれ、他チームにも広まる。
- 1931(昭和 6) 市立大が「野球部」を発足。
- 1932(昭和 7) 文部省が「野球部」の創設を指示。
- 1933(昭和 8) 大リーグのオールスターゲームが始まる。
- 1934(昭和 9) ペースボールがペースボールリーグ制となる。
- 1936(昭和 11) 東京巨人、大阪タイガース、名古屋、東京セキセイ、大阪、大東京、名古屋、西園、西園球場完成。
- 1943(昭和 18) 戦争激化で学生野球は中止。
- 1944(昭和 19) プロ野球も一時休止となる。

Baseball History

● アメリカの野球の歴史です

1872年に第一学区第一番中学のアメリカ教師ホリス・ライムンが生徒にペースボールを伝えた。翌年、開成学校と校名が変わり新校舎として立派な運動場が整備され、試合ができるようになった。

1849(嘉永 2) ニッカーボクサーと呼ばれるコンホムを用いる。

1857(安政 4) アマチュア野球選手会を作ると話し合いを行い、「新編アサヒ」が倶楽部を結成。

1876(明治 9) 現在のチャイナ・リトルリーグが結成される。

1878(明治 11) アメリカ留学から帰国した平岡 藩が、わが国初の野球チームを創設。

1884(明治 27) 中馬 康がペースボールを「野球」と呼ぶ。

1896(明治 29) 第一高等学校が横浜外国人チームに勝利し、野球人気が高まる。

1901(明治 34) 現在のアメリカン・リーグが結成される。

1903(明治 36) ナショナル・リーグの間に協定が成立し、ダブルリーグが始まる。

1905(明治 38) 早稲田が初の米園遠征を行い、最新の野球技術を学んで帰国。

1906(明治 39) 栗原が初めて外国チーム(ハリソン・セントルイス)を招待し、初の有料試合を行う。

1914(大正 4) 全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園大会)が始まる。

1918(大正 7) 錦旗 栄が少年野球用に軟式ボールを発明。

1919(大正 8) オールスターゲームの選手が買収される。

1920(大正 9) 最初のプロ野球日本運動協会(芝浦協会)が発足。

1921(大正 10) フットボールが初代コミッションナーに就任し、フットボール大会を開催。

1924(大正 13) 全国選抜中等学校野球大会(現在の春の甲子園大会)が始まる。

1925(大正 14) 秋季、早稲田が復活、東大の加盟により東京六大学リーグ制が始まる。

1926(大正 15) 明治神宮球場完成。

1927(昭和 2) 夏の甲子園大会が初めてラジオで実況放送される。

1929(昭和 4) 六リーグで番号を採用する球団があらわれ、他チームにも広まる。

1931(昭和 6) 市立大が「野球部」を発足。

1932(昭和 7) 文部省が「野球部」の創設を指示。

1933(昭和 8) 大リーグのオールスターゲームが始まる。

1934(昭和 9) ペースボールがペースボールリーグ制となる。

1936(昭和 11) 東京巨人、大阪タイガース、名古屋、東京セキセイ、大阪、大東京、名古屋、西園、西園球場完成。

1943(昭和 18) 戦争激化で学生野球は中止。

1944(昭和 19) プロ野球も一時休止となる。

野球殿堂博物館

ご来館の記念にここにスタンプを押して持って帰ってね。

場所 東京ドーム21ゲート右

開館時間 3月1日~9月30日 10:00~18:00
10月1日~2月末日 10:00~17:00
※入館は閉館時間の30分前まで

入館料 大人 500円(300円)
小・中学生 200円(150円) ※ ()内は20名以上の団体
65歳以上 300円

休館日 月曜日(ただし祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み期間中は開館)
年末年始(12月29日~1月1日)

公益財団法人 **野球殿堂博物館**

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-3-61
TEL. 03(3811)3600 FAX. 03(3811)5369
http://www.baseball-museum.or.jp/

財団法人 **野球体育博物館** は2013年4月より
公益財団法人 **野球殿堂博物館** になりました。